

京都府保健医療計画の進捗状況について（概要版）

1 計画の進捗評価

京都府保健医療計画（令和6年度～令和11年度）の効果的な推進に当たっては、各施策の実施状況・進捗状況を確認し、達成度を評価し、新たな課題が生じていないか、必要に応じて取組の見直しを行う。

2 進捗評価（毎年度）の実施方法

ロジックモデルのツールを活用し、プログラム評価の手順で評価を実施する。

※毎年度の評価：セオリー評価及びプロセス評価

【プログラム評価の視点】

ニーズ評価	充足されていないニーズは何か。
セオリー評価	個別施策、中間アウトカム及び分野アウトカムに整合性はあるか。
プロセス評価	個別施策を着実に実施しているか。
インパクト評価	アウトプットがアウトカムの達成にどの程度の効果をもたらしたか。
コスト・パフォーマンス評価	効果によってインプット（費用や労力）が正当化できるか、見合っているか。

3 成果指標（のべ 666 項目）の進捗状況

◎：現状値が目標値を超えている指標	70 項目（10.5%）
○：6年計画の1年目進捗度 16.7%を達成している指標	108 項目（16.2%）
△：6年計画の1年目進捗度 16.7%を達成していない指標	114 項目（17.1%）
—：計画期間開始後の最新値未更新	374 項目（56.2%）

〔進捗度の算出方法〕

①数値目標が「増加」の方向をめざしている場合：

$$\text{進捗度（\%）} = \{ (\text{実績数値} - \text{基準値}) \div (\text{目標値} - \text{基準値}) \} \times 100$$

②数値目標が「減少」の方向をめざしている場合：

$$\text{進捗度（\%）} = \{ (\text{基準値} - \text{実績数値}) \div (\text{基準値} - \text{目標値}) \} \times 100$$

③「0」を目標としている場合：

$$\text{進捗度（\%）} = \{ (\text{基準値} - \text{実績数値}) \div \text{基準値} \} \times 100$$

※現状値が基準値に達していない項目については、進捗度は「0%」とする。

4 分野別の進捗状況

分 野					総 括
◎	○	△	－	合計	
第 1 章 地域の保健医療を支える人材の育成・基盤の整備					
保健医療従事者の確保・養成					
一医師					全体的には進捗率が伸びていないが、 着実に取組を進めている。
5	2	7	1	15	
一歯科医師					目標値達成に向け、関係団体が実施する 研修事業や広報活動が地域課題に応じた 取組内容となるよう、支援を継続して いく必要がある。
0	0	0	2	2	
一薬剤師					引き続き京都府薬剤師確保協議会にお ける意見を踏まえ、薬剤師の確保・偏在 解消に向けた取組を推進していく必要が ある。
0	1	2	0	3	
一看護師・准看護師・保健師・助産師					看護師数は増加しているものの、1年 目の進捗度は達成できなかった。少子化 による新規養成数の減少、担い手不足に より慢性的に看護人材が不足する中、 看護師の確保定着及び潜在看護職員の 就業をより促進していく必要がある。 新任保健師研修の受講率を達成できた。
5	5	2	5	17	
一理学療法士・作業療法士・言語聴覚士					理学療法士等の府内就職を促進するな ど、確保・養成が進んだ。
0	1	0	9	10	
一臨床工学技士					従事者数は増加しているが、地域偏在が 課題である。
1	0	1	0	2	
一歯科衛生士・歯科技工士					歯科衛生士数は増加しているものの、 歯科技工士数は減少しており、引き続き 確保対策が必要である。
0	1	1	0	2	
一管理栄養士・栄養士					目標達成に向けて、保健所を通じて配置 促進に向けた助言や情報提供、研修会を 引き続き行う。
0	0	1	1	2	
リハビリテーション体制の整備					理学療法等の確保・質の向上、訪問リハ ビリテーション事業所の整備等により、 リハビリテーション体制の整備が進んだ。
0	3	0	10	13	
外来医療に係る医療提供体制					達成した目標値の実績を継続できるよう、 今後も取組を進めていく。
1	0	0	0	1	

第2章 府民・患者の視点に立った安心・安全な医療体制の確立					
医療の安全と質の向上、医療情報の提供					新システムへの移行期であり、登録医療機関数が減少したことにより実績数値が不明となった。引き続き、新システム活用を周知していく。
1	1	1	4	7	
小児医療					実績数値が未確定の項目も多く、全体的に進捗率が伸びていないが、着実に取組を進めている。
5	15	6	22	48	
周産期医療					全体的には進捗率が伸びていないが、着実に取組を進めている。
1	1	0	7	9	
救急医療					全体的に進捗率が伸びていないが、着実に取組を進めている。
5	2	4	3	14	
災害医療					実績数値が未確定の項目も多く、全体的に進捗率が伸びていないが、着実に取組を進めている。
1	1	0	7	9	
新興感染症発生・まん延時における医療（感染症対策を含む）					6指標において100%を達成するなど、おおむね順調に進捗しているところ。今後も取組を継続し、すべての項目で100%を達成できるように取組を進めていく。
6	3	0	0	9	
へき地医療					全体的には進捗率が伸びていないが、着実に取組を進めている。
2	1	5	0	8	
在宅医療					人口減少に伴い医療資源の集約が加速化しており、退院支援を受けた患者数や訪問診療を受けた患者数等早期に目標を達成できている項目と、往診を実施している診療所・病院数等基準値よりも値が下がっている項目との二極化が進んでいる。
0	8	4	20	32	
医薬品等の安全確保と適正使用					引き続き監視指導や啓発等を実施し、医薬品等の安全確保と適正使用を推進していく必要がある。
0	2	2	0	4	
第3章 健康づくりから医療、介護まで切れ目のない保健医療サービスの提供					
健康づくりの推進					
一生活習慣の改善					実績数値が未確定の項目も多く、進捗率が伸びていないが、目標値の達成に向けて更に取組を進めていく。
0	4	9	81	94	
一歯科口腔保健・歯科医療対策					実績数値が未確定の項目も多く、進捗率が伸びていないが、目標値の達成に向けて更に取組を進めていく。
0	1	5	21	27	

一母子保健対策					妊娠から子育てまで切れ目のない支援を実施してきたところ。今後も社会、個々のニーズに応じたきめ細かな支援を行うため、市町村や関係機関と連携し妊娠から子育てまで切れ目のない支援を実施していく。
7	9	9	45	70	
一青少年期等の保健対策					「AIDS 文化フォーラム in 京都」の共催など、概ね順調に進捗しているところ。
2	2	1	0	5	
一高齢期の健康づくり・介護予防					目標達成に向けて、介護予防や健康増進、生きがいづくりを目的とした通いの場の創出などの支援を引き続き行っていく。
0	6	3	4	13	
特に広範かつ継続的な医療の提供が必要な疾病に係る対策					
一がん					実績数値が未確定の項目も多く、進捗率が伸びていないが、引き続き目標達成に向けて取組を進めていく。
13	6	19	103	141	
一脳卒中					「循環器病の予防や正しい知識の普及啓発」、「保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実」を展開し、引き続き取組を進めていく。
0	0	0	4	4	
一心筋梗塞等の心血管疾患					
0	0	0	4	4	
一糖尿病					実績数値が未確定の項目もあるが、目標値の達成に向けて更に取組を進めていく。
2	0	2	11	15	
一精神疾患					進捗状況は思わしくないが、目標値を達成している項目もある。目標達成に向けて引き続き取り組んでいく。
3	7	13	0	23	
一認知症					進捗が遅れている部分については、更なる取組が必要。認知症の本人や家族の視点に立って、意見を聴きながら進めていく。
2	17	2	0	21	
様々な疾病や障害に係る対策の推進					
一発達障害、高次脳機能障害対策					発達障害：発達障害支援体制の整備・充実、支援人材の確保・育成等により、発達障害児（者）への支援を強化することができた。 高次脳機能障害：相談体制の整備・充実、支援人材の確保・育成等により、高次脳機能障害者への支援を強化することができた。
6	6	3	0	15	

一難病、小児慢性特定疾病、原爆被爆者、臓器移植等の推進、アレルギー、その他の疾病等対策					進捗状況が芳しくない分野もあるが、一部の分野においては早々に目標値を達成しており、取組の効果ができていると評価できる。
1	1	5	2	9	
一肝炎対策					進捗率は伸びていないが、制度の周知啓発など、目標値の達成に向けて、更に取組を進めていく。
0	1	7	8	16	
一健康危機管理					必要な訓練等を実施するなど、概ね順調に進捗しているところ。
1	1	0	0	2	